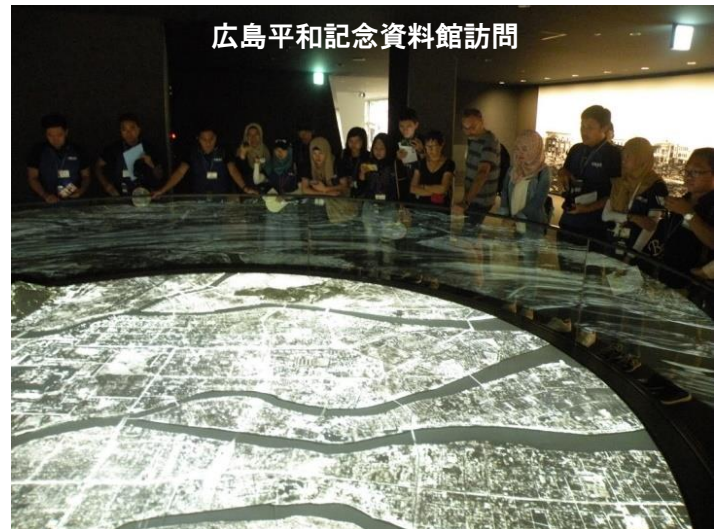


<第6期広島招聘初修研修>

2018年7月2日(月)～28日(金)



ユニタール広島事務所訪問



広島平和記念資料館訪問

広島大学大学院社会科学部研究科は、フィリピン共和国ミンダナオ地域で平和の定着を支援する平和構築事業を、国際協力機構（JICA）草の根技術協力事業の枠組みの下、広島県と共同で、2014年から行っています。

この事業の一環で行われる「広島招聘初修研修」は、広島県の職員や広島大学の教員による講義を受講し、また行政の現場に出かけて実務や課題を学ぶものです。第二次世界大戦の激戦地にもなったバンサモロ地域に平和を定着させるため、住民が平和の果実を実感できる効率的な政府を実務的に運営できる人材を養成することを目的としています。

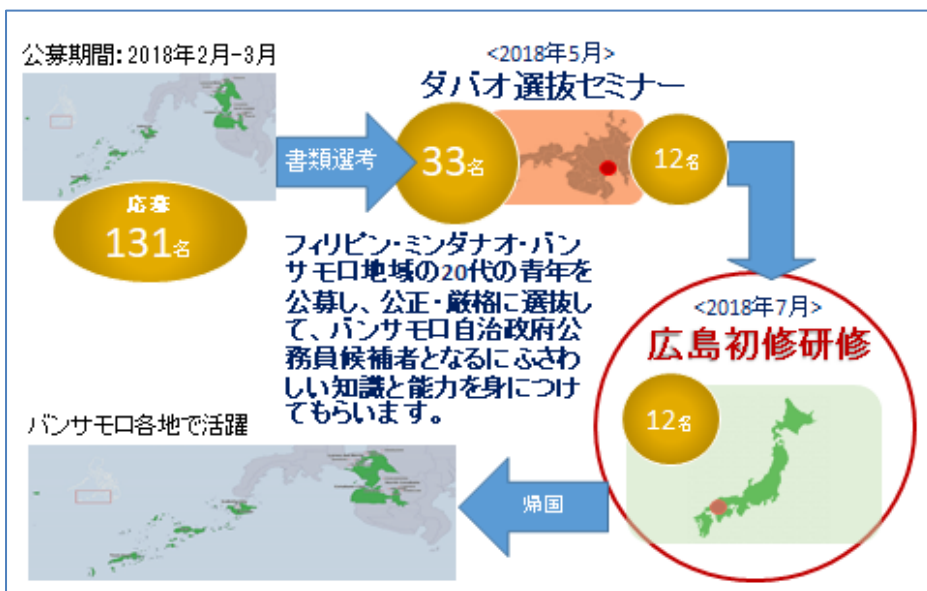
2018年7月には、フィリピン・ミンダナオ・バンサモロ地区より選ばれた12名の研修生と現地スタッフ1名を広島へ招聘し、それにバンサモロ社会で活躍している研修修了生4名をファシリテーターとして加え、第6期の研修を実施しました。



JICA 中国センターでのオリエンテーション



ダバオ選抜セミナーの様子



宮島にて多宗教の共存に関する視察



広島県庁での講義



広島県職員と広島大学教員のコラボセッション



ユニタール広島
研修指導員による講義



社会科学部
支援室実地研修



庄原市での研修
(県立広島大学生命環境学部吉野研究室)



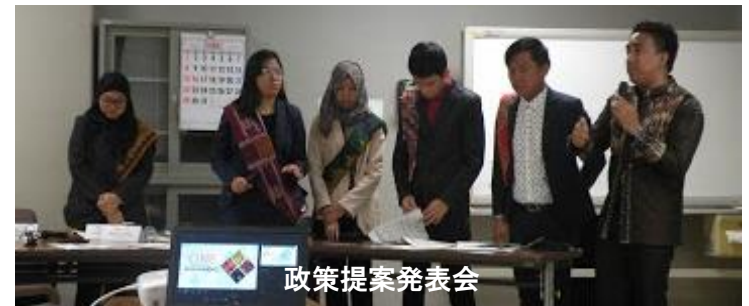
「爆心地」見学



庄原市での実地研修
(産官学連携による商品開発についての講義)



学長表敬訪問



政策提案発表会



広島招聘初修研修修了式